

# 高島 市政 規制緩和と大型開発につきすすむ

## 新年度予算案の問題点をみる



高島市政の 2017 年度予算案が発表されました。その中身は、安倍政権に追随し、一部の大企業・グローバル企業だけをもうけさせる規制緩和と大型開発につきすすむものとなっています。他方で、「成長の果実をすみずみに」などと言いながら市民の暮らしには冷たい姿勢がきわだちます。

一部の大型企業にだけ奉仕  
市民はますます貧しく

### 「天神ビッグバン」で開発

規制緩和による民間ビルの建て替え促進で都心開発をおしすすめる「天神ビッグバン」。

新年度予算案では、その一環として旧大名小跡地利用の事業者公募をすすめます。住民との約束を反故にして、西鉄グランドホテルの建て替え用地にするなど、民間投げ渡しが行われています。



旧大名小跡地

「跡地に子どもが自由に遊ぶ、地域行事ができ避難場所となる運動場を」——住民から署名が 3577 筆、市議会に提出されています。

### WF推進、人工島62億円

ウオーターフロント

新年度予算案には「ウオーターフロント(WF)ネクスト」などと称して、大型クルーズ船の複数同時着岸の岸壁整備の予算を計上。

さらに、民間に運営を丸投げする第2期展示場と立体駐車場に100億円もの事業費が計上されています。

WFの民間提案にカジノが描かれ、国ではカジノ解禁法が強行。誘致される危険があります。

また、破綻した人工島事業には埋め立てと大規模公園建設で新年度62億円が計上されました。

そのほか、財界奉仕が目白押しです。

## 「果実」どころか 市民の暮らしに冷たく

高島市政のもとで…

- 市内大企業の内部留保
- ふくおかFG / 1312 億円増
- 西日本シティ / 934 億円増
- 西日本鉄道 / 498 億円増
- 西部ガス / 36 億円増
- 九電工 / 122 億円増

●給与所得者の平均給与と収入  
1人あたり6.2万円減  
(物価上昇の影響を加えると実質22万円減)

※内部留保は2009年度と2015年度比。  
※給与所得者の平均給与と収入は個人市民税に係る1人あたりの額。2009年度と2015年度の比較。

### 敬老金廃止

敬老金は80歳、88歳、100歳以上の1万5000人に1〜3万円支給され、敬老祝い品は100歳の人に記念品が贈呈されていますが、「配る福祉から支える福祉」などと言って、これらの廃止を打ち出しました。

また、高齢者乗車券の縮小も検討されています。

### 国保料は介護分1909円アップ

12月時点で未入所児童数は3000人にも達していますが、認可保育所は1380人(小規模保育や企業主導保育など含めても2100人)しか作るうとしていません。

また、特養ホームも、約5000人もの入所希望者があふれています。入所を要介護3以上に制限したままです。

高すぎる国民健康保険料を一人当たり介護分1909円引き上げます。

## ムダづかいやめさせ、市民の暮らし応援へきりかえます

日本共産党 福岡市議団

### 新年度実現します!

- 市営渡船に精神障害者への運賃割引を導入(西鉄なども実現へ)。
- 就学援助の入学準備金が倍増。
- 災害時の簡易トイレが24倍増、間仕切り、食料備蓄が増える。
- 障害者の移動支援の対象者や範囲が拡大。

※役員体制が新しくなりました。



中山 いくみ 団長(早良区) 倉元 達朗 幹事長(城南区) 星野 美恵子 市議(中央区) ひえじま 俊和 市議(博多区) 熊谷 敦子 市議(西区) 綿貫 英彦 市議(東区) 堀内 徹夫 市議(南区)